

第2回農地情報収集・提供検討委員会議事概要

日時：平成23年3月1日（火）15：00～17：00

場所：全国農業会議所会議室

議題：（1）農地情報提供システムの改善した仕様について

（2）市町村への普及状況と今後の対応について

（3）その他

委員の主な意見

・マニュアルは結構長そうな内容だったので、多分、誰も読まないでしょう。必要になったときに必要な箇所だけ見られるように、仕掛けをうまく工夫したほうがよい。

・検索は、非常に楽にできるようになったという感じは、さっきも見ていて思った。

・賃借料情報の北海道について、もう少しきれいにわかりやすい表示の仕方をしたほうがよい。北海道はもう少し絞り込んで、石狩地方とか、胆振地方とか、檜山地方とか、後志地方で分けられるようにしたほうがよい。

・農地利用集積円滑化団体やJAでも、割とホームページでアップされているところが見受けられるようになってきたので、そういうところとの相互乗り入れも検討したらよい。

・あまりネガティブなデータを載せても仕方がないし、失敗例を挙げる必要はないと思うが、売る側、貸す側、借りる側、買う側で、何か注意をしなければいけない事項などを示すコーナーがこのホームページ上にあったほうがよい。

・今日、来る前に試してみましたが、「農地情報」で検索しても、トップでシステムが出てきました。さっきの説明文がサーチした結果の中に入ってきて、非常にわかりやすい感じだった。

・実例だが、電話での問い合わせで、このシステムを紹介したところ、どこの誰かわからないような人に貸すのは抵抗があるということだった。最初の条件面などは双方の合意にはなりますが、市もある程度の段階までは仲介するので、全く信頼が置けない方というのは決してあり得ない。一応、市も間に入っただけの仕組みですので、信頼をしてもらって、結果的に登録してもらったケースがあった。

・このシステムを生かすも殺すも、ある程度は自治体のやる気だ。全国的に耕作放棄地が増えており、また、農業委員会は利用状況調査がありますので、調査結果をふまえ、システムを活用していくのは一つのゴールだ。

・農業委員会は、人材的に少し厳しいところがあるが、使い勝手のいい提案の仕方をしていくと、もう少し乗ってくれるのではないかな。

(以上)